

<令和5年度事業報告> 特産品技術継承部会

部会について

- ①令和5年6月20日(火) 10時～全体会議
- ②令和5年7月18日(火) 13時～オンライン部会 審査会
- ③令和5年7月19日(水) 15時30分～17時 水源検討会(銀上地区) 東米良仁の里
- ④令和5年9月9日(土) 9時～11時 休耕地活用についての検討会(尾八重集落)
- ⑤令和5年11月30日(木) 農村RMO九州フォーラム対応

☆剪定技術継承システムの設計・開発

7月5日(水) 委託業者公募予定

7月10日(月) 質問書受付期限

7月13日(木) 申込書提出期限

7月16日(日) 業務内容および見積書提出〆切

7月18日(火) 審査 委託業者決定 株式会社ソフモ

採点表別紙

7月20日(木) 決定通知

事業期間 令和5年8月1日～令和6年1月31日まで

事業内容 別紙

① 剪定技術者育成講習の構成の検討

昨年の調査・要望をくみ取り、剪定における基礎知識の説明や幼木(1年)から成木(8年)に至る成長過程など、多岐にわたる構成とする。

現在の紙面による育成講習に沿った、構成となるよう担当者を交え協議を行う。

② ビフォーアフター3D画像のデータ収集と活用計画

1) **基本樹形**～幼木から成木までの基本樹形(開心自然形)づくりに欠かせない「摘心・剪定・誘引」作業を段階的にビフォーアフター3D画像で製作。

2) **樹形維持**～樹形が完成した成木の樹形維持に欠かせない「剪定」作業をビフォーアフター3D画像で製作。

3) **応用樹形**～傾斜地や日光を考慮した応用樹形、または改造が必要な樹形も同じように製作する。

③ 3Dモデル作成

リアルさより、実用性・柔軟性を重視し、短い直線ラインを1本の枝とみなし（1～8年でラインの太さを変える）組み合わせ、それぞれの樹を生産者主導にて、PC上で製作できないか。専門家を交えシステム開発・検討を行う。

④ 剪定技術の教材用データを制作

システム使用者における剪定シミュレーションの開発・検討を行う。

☆農業用水の取水源の調査・検討会

①行政を交えた検討会の実施 水源確保について検討する

7月銀上集落・9月→11月→1月 計1回

☆地域資源活用

①休耕地検討会 3地区別開催 9月尾八重集落 1地区

②東米良梅の活用計画策定（クラウドファンディング・補助金…）

③東米良竹の活用の検討

毎月第2土曜日尾八重地区プロジェクト会議にて尾八重竹の活用を検討

竹灯籠のイベントを銀上集落・尾八重集落で実施

タケノコ掘り・竹林管理の現状と課題把握等実施

④東米良しいたけの活用の検討

児湯農林振興局と協議 R5.9.22 椎茸生産者と協議が必要

原木確保において石川林業との連携を検討

東米良地区だけでなく近隣市町村など連携した活動も視野に入れるべきではないか

⑤東米良ジビエの活用（鳥獣被害対策部会合同）

DMM.com 事業 ジビエコンソーシアム事業に参画